

# Cisco Response Solutions ( CRS ) の AppAdmin ページから RM JTAPI プロバイダーを作成できない

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Customer Response Solutions ( CRS ) Appadmin のページから Resource Manager ( RM ) Java Telephony Application Programming Interface ( JTAPI ) プロバイダーの作成を試みると、その試みは次のエラー メッセージのいずれかで失敗します。

- LDAP RMJTAPI
- Jtapi

この問題は、Cisco CRS を Active Directory ( AD ) に統合するときに発生します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco CallManager
- Cisco CRS
- Active Directory

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CRS 4.x
- Cisco CallManager 3.3 以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

次の状況では、Active Directory 統合の使用時に RM JTAPI プロバイダを追加できないという問題が発生します。

- CRS 4.x サーバで RM JTAPI プロバイダを作成する場合
- CRS 4.x 新規インストール システムで RM JTAPI プロバイダを設定する場合
- 復元プロセスで LDAP 移行ステップを実行するときに、CRS 3.x システムから CRS 4.0 システムに移行する場合

Cisco CallManager AD プラグインがセキュリティ制約付きでインストールされており、この制約により AD 管理ユーザにユーザの組織単位 (OU) への書き込み特権を付与できない場合、CRS は AD に JTAPI/RM JTAPI ユーザを作成できません。これにより、サブシステムの設定が失敗します。また、CRS 3.x から CRS 4.0 へのアップグレード時に、移行ウィザードが AD にこれらのユーザを作成できません。これが原因で、Backup and Restore System (BARS) からの復元操作が失敗します。

## 解決策

CRS を AD に統合する場合、この問題を解決するために、JTAPI プロバイダとして設定されているすべての Cisco CallManager サーバで次の手順を実行する必要があります。

1. C:\dcdsrvr\config を参照し、UMDirectoryConfiguration.ini ファイルをメモ帳で開きます。注：このファイルを Notepad (メモ帳) で開く必要があります。それ以外のテキスト エディタでこのファイルを開くと、アプリケーションによってはファイルが破損することがあります。
2. UMDirectoryConfiguration.ini ファイルで UserDirAccesskey を見つけ、その値を True に変更します。
3. Notepad で [File] > [Save] を選択し、ファイルを保存して UMDirectoryConfiguration.ini ファイルを閉じます。
4. [Start] > [Run] を選択します。
5. regedit と入力し、[OK] をクリックします。
6. レジストリ内の <file://\HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\Cisco> \HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\Cisco Systems, Inc.\Directory Configuration を参照します。
7. 右側のペインで、DirAccess レジストリ キーをダブルクリックします。false のレジストリ 入力を削除し、新しいレジストリ入力として true と入力します。
8. IIS Admin Service とその依存サービスを再起動するため、次の手順を実行します。[Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Services] の順に選択します。[IIS Admin Service] を右クリックして、[Restart] を選択します。関連サービスの再起動を求めるダイアログボックス

が表示されます。これらのサービスは、設定に基づいて異なります。[Yes] をクリックし、依存サービスを再起動します。

## 関連情報

- [Cisco Customer Directory 設定プラグインのインストールと設定](#)
- [音声およびユニファイド コミュニケーションに関するサポート リソース](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)